

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	小土地改良事業	担当課	農林課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり	
	政策	環境と調和した農林業の振興	
	施策	農林業生産基盤の整備	
関連する個別計画等		根拠条例等	土地改良法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	農道拡幅、用排水路整備を実施することにより、耕作放棄地の解消及び、維持管理の省力化を図り、農業生産性の向上に繋がることを目的とする。
事業の手段	農業用施設の老朽化が進んでおり、地区からの改修要望に基づいて事業効果、危険度の高い箇所を判断し、請負工事、維持工事、7割補助、原材料支給などを活用し、順次実施しているところであります。また、補助事業に適合される箇所については積極的に取り入れ有効活用している。
事業の対象	農業用施設を利用する市民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	113,673	72,911	80,835
財源内訳	国・県支出金	26,444	17,297	22,573
	その他(使用料・借入金ほか)	14,859	802	1,048
	一般財源	72,370	54,812	57,214
B	担当職員数(職員E) (人)	1.09	1.54	1.54
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	7,433	10,298	9,996
D	総事業費(A+C) (千円)	121,106	83,209	90,831
主な事業費用の説明				

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 基盤整備箇所全体延長	全整備延長	3,207	1,923	2,530
	2	道路	1,128	529	991
	3	水路	2,079	1,394	1,539
妥当性		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	道路については、原材料支給を活用し、地区により積極的に舗装を行ってもらった。			
	2	水路については、老朽化が激しい箇所を積極的に先行前年度より1割程度延長も伸び、維持管理が向した。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	1 箇所当たりの整備費(千円) 事業費/整備箇所(千円) (80,835/43 箇所)	2,162	1,736	1,880
	2	道路 (18,641/14 箇所)	1,933	1,736	1,332
	3	水路 (62,194/29 箇所)	2,262	1,202	2,144
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	各地区からの要望が多いなか、緊急性の高い農業施設の改良修繕を中心に行っているため、成果は見えにくくなっている。			
	2	前年度より箇所は微量ながら増加しているため、妥当と判断される。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 大規模な改修については国の交付金を有効的に利用するとともに、他事業(区画整理を伴う基盤整備事業、県営事業)等を取り入れていくよう地区に提示し、地区内の調整を図っていく。
過去の改善経過	軽微な箇所については、原材料支給・7割補助事業にて対応し期待どおりの結果が得られた。
課長所見	地区からの要望を精査し、今後も継続して行っていく。また、他事業で対応出来るものについては、積極的に活用し整備を進めていく。